

TORO®

タンクすすぎキット

Multi Pro 5800 ターフスプレーヤ

モデル番号41614—シリアル番号 315000001 以上

取り付け要領

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

このすすぎキットは、液剤散布期のタンクやそのホースに残っている薬剤をすすぎ洗いするための装置です。このキットは、芝生に液剤を散布するための専用装置のための補助装置アタッチメントであり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。

オペレータや周囲の人の人身事故や製品の損傷を防ぐ上で大切な情報が記載されています。

モデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置は図1の通りです。

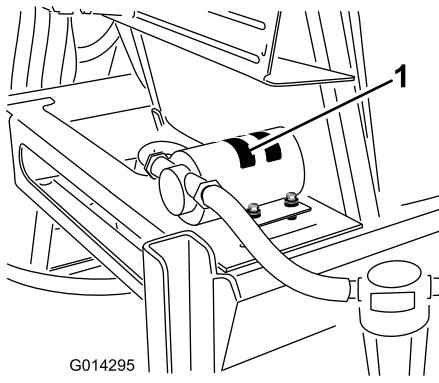


図 1

1. 銘板取り付け位置

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

安全について

散布車両の オペレーターズマニュアルに記載されている安全事項や操作手順をよくお読みください。

薬剤の安全管理

！警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壤などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- 自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートMSDSなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守る。たとえば、保護マスクとめがねゴグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることのできる適切な保護対策を講じる。
- 散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。
- 上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否すること。
- 散布装置の取り扱いを開始するまえに、その装置を前回使用したあとに薬剤メーカーの指示に従って3回のすすぎ洗いや必要な中和処理が行われたかを確認すること。
- 十分な量の水と石鹼を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。
- 薬剤の取り扱いに関する適切な教育訓練を受けてください。
- 目的にあった適切な薬剤を使用してください。
- 薬剤を安全に使用するために、薬剤メーカーの指示を必ず守ってください。
- 薬剤の取り扱いは換気のよい場所で行ってください。
- 作業にあたっては保護めがねゴグルなど、メーカーが指定する安全対策を必ず実行してください。皮膚の露出ができるだけ小さくしてください。
- いつでも、特に薬剤タンクに薬液を作るときに、真水を手元に用意してください。



- ・ 薬剤を取り扱い中は、飲食や喫煙をしないでください。
- ・ 作業終了後は直ちに手足や露出部をよく洗ってください。
- ・ 使用しなかった薬液や薬剤容器は、メーカーや地域の規則に従って適切に廃棄してください。

- ・ 薬剤や薬剤からの蒸気は危険です。絶対に、タンクの中に入ったり、頭を入れたり、タンクの上に顔をさらしたりしないでください。
- ・ 国や自治体などの法律や規則を守って散布作業を行ってください。

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	すすぎタンク 補給口キャップ バルクヘッドフィッティング 透明ガスケット プラスチック製フランジナット 90° フィッティング リテナフォーク	1 1 1 1 1 1 1	すすぎタンク用バルクヘッドフィッティングを取り付けます。
3	すすぎタンク固定ベルト ボルト ワッシャ ロックナット キャリッジボルト	2 2 4 2 1	すすぎタンクを取り付けます。
4	すすぎ用ノズル バルクヘッドフィッティング ショルダーボルト ブッシュ すすぎベーン羽根車 ガスケット プラスチック製フランジナット 90° フィッティング	2 2 2 2 2 2 2	すすぎ用ノズルを取り付けます。
5	すすぎタンク用ポンプ ストレートフィッティング	1 2	ポンプを取り付けます。
6	ホースすすぎノズル用 ホースクランプ 字フィッティング ホース給液用 フィルターセンブリ ホースすすぎタンク用 保護チューブ ケーブルタイ	2 10 1 1 1 1 1 2	ホースとフィルタを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
7	遅延タイマー ヒューズ40A 3ポジションスイッチインジケータランプ付き—2015以前のモデル 3ポジションスイッチインジケータランプなし—2016以降のモデル リレー 電源リレー ねじ#10-24	1 1 1 1 1 2	遅延タイマーとダッシュボードスイッチを取り付けます。
8	必要なパーツはありません。	—	すすぎタンクキットの取り付けを完了します。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

▲警告

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属を接触させないように注意する。
- バッテリーの端子と金属を接触させない。

▲警告

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
- ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。

- 車両を平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。
- バッテリーボックスからストラップとカバーを取り外すそれぞれの車両のオペレーターズマニュアルを参照。

- タンクとその配管に残っている液剤をすべて排出する詳細はオペレーターズマニュアルを参照。

注 タンクに薬剤が残っている場合には排出して、タンクおよび配管内部を真水で入念に洗浄する洗浄手順については散布車両のオペレーターズマニュアルを参照すること。

注 液剤を排出した後でも、ホースの一部に薬剤が残っている可能性がありますから、ホースを取り外す際には十分に注意し、またバケツなどを用意しておいてください。

- バッテリーからマイナスケーブルを外す車両のオペレーターズマニュアルを参照。
- バッテリーからプラスケーブルを外す車両のオペレーターズマニュアルを参照。

▲注意

農薬は人体に危険を及ぼす恐れがある。

- 農薬を使う前に、農薬容器に張ってあるラベルをよく読み、メーカーの指示を全て守って使用する。
- スプレーを皮膚に付けない。万一付着した場合には真水と洗剤で十分に洗い落とす。
- 作業にあたっては保護ゴーグルなど、メーカーが指定する安全対策を必ず実行する。

2

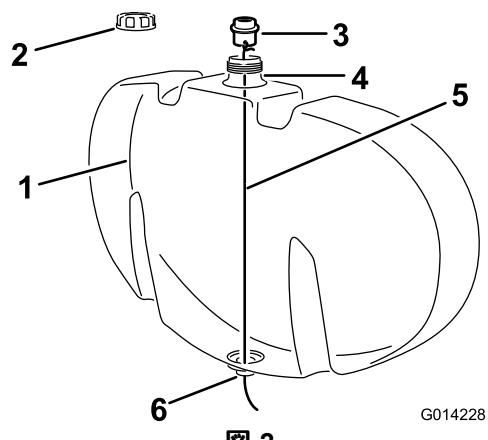
すすぎタンク用バルクヘッドフィッティングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	すすぎタンク
1	補給口キャップ
1	バルクヘッドフィッティング
1	透明ガスケット
1	プラスチック製フランジナット
1	90° フィッティング
1	リテナーフォーク

手順

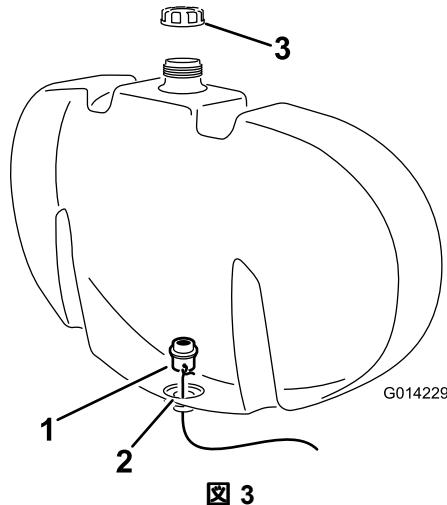
- 付属部品の中に入っているすすぎタンク、タンクキャップ、バルクヘッドフィッティングを探し出す。
- 以下の手順で、バルクヘッドフィッティングをすすぎタンク底部の穴に取り付ける
 - バルクヘッドフィッティングに透明ガスケットを取り付ける。
 - タンクの高さよりも長い針金を用意し、これをバルクヘッドフィッティングのフォーク穴の一つに取り付ける図2。



- すすぎタンク
- 補給口キャップ
- バルクヘッドフィッティング
- 給水口すすぎタンク
- 針金
- すすぎタンクの底の口

- すすぎタンクのキャップ図2を取る。
- 給水口から針金の先端をタンク内に降ろし、タンク底部にある開口に針金を通す図2。

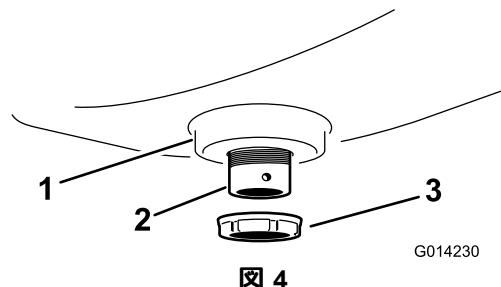
- 口から出てきた針金を使ってバルクヘッドフィッティングをタンク下の穴に導き入れる図3。



- バルクヘッドフィッティング 針金を付けた状態
- すすぎタンクの底の口

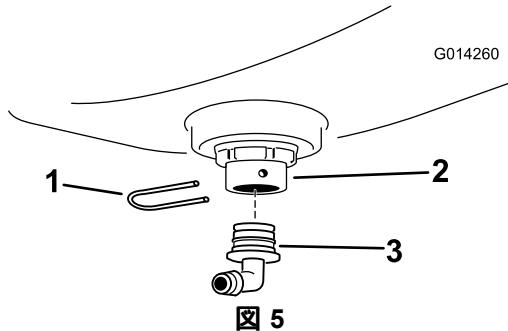
- バルクヘッドフィッティングを開口の正しい位置にセットする透明ガスケットがタンクの内壁に密着していることを確認する図3。

- プラスチック製のフランジナットを使ってバルクヘッドフィッティングをタンクに固定する図4。



- すすぎタンクの最低部
- バルクヘッドフィッティング取り付けた状態
- プラスチック製フランジナット

- バルクヘッドフィッティングに90°フィッティングを取り付け、この90°フィッティングをリテナーフォークで固定する図5。



1. リテナフォーク
2. バルクヘッドフィッティング
3. 90° フィッティング

5. フィッティングを回して後ろ向きにする。

3

すすぎタンクを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	すすぎタンク固定ベルト
2	ボルト
4	ワッシャ
2	ロックナット
1	キャリッジボルト

タンクの準備

1. バルブ取り付けレールをフレームに固定しているボルトをゆるめる図6。

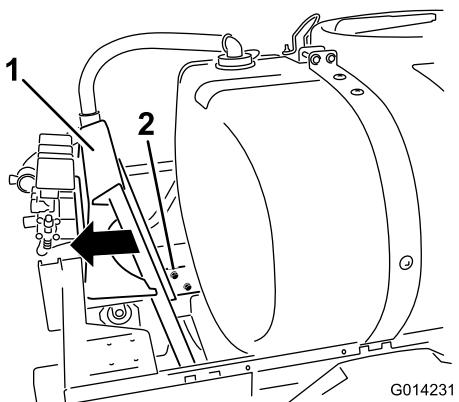


図 6

1. 取り付けレール
2. ボルト

2. そして、取り付けレールを後方へ移動させる。

注 これはすすぎタンクを取り付けるスペースを作るためのわずかな調整です。

3. 調整が終わったら、ボルトを締め付けて取り付けレールをフレーム上にしっかりと固定する。
4. ボルトを $40\text{N}\cdot\text{m}$ $37\text{kg}\cdot\text{m}$ $= 30\text{ft}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。
5. メインタンクの後部と上部から給液ホースを外す図7。

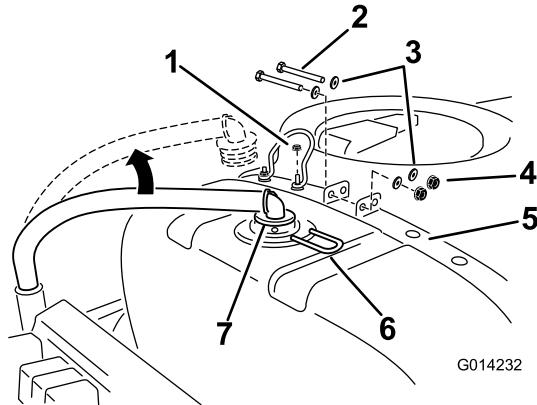


図 7

1. ロックナット
2. ボルト
3. ワッシャ
4. ロックナット
5. 右後部のタンク固定ベルト
6. リテナフォーク
7. 給液ホース
6. フィッティングを固定しているリテナフォークを外してホースを外す。外した部品はすべて保管する。
 7. タンク後部固定ベルトをタンク上部に固定している締結具を外す。外した部品はすべて保管する。
 8. 蓋ストップを左後部タンク固定ベルトに固定しているロックナットのうち、内側のロックナットを外す。外したナットは保管する。

すすぎタンク用固定ベルトの固定金具を取り付ける

1. 右後部タンク固定ベルトの内側の穴にキャリッジボルトを取り付ける図8。
- 左後部固定ベルトのキャリッジボルトは、蓋ストップのリング部に通す。

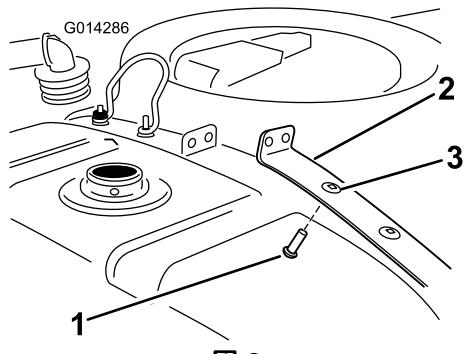


図 8

1. キャリッジボルト
2. 右後部のタンク固定ベルト
3. 内側の穴

2. 先ほど外した、タンク固定ベルト用の締結具を使って、タンク固定ベルトをタンクに固定する。

ベルトがタンクに確実に固定されていることを確認してください。締めすぎないように注意すること。

すすぎタンクを取り付ける

1. すすぎタンクを取り付ける図 9。

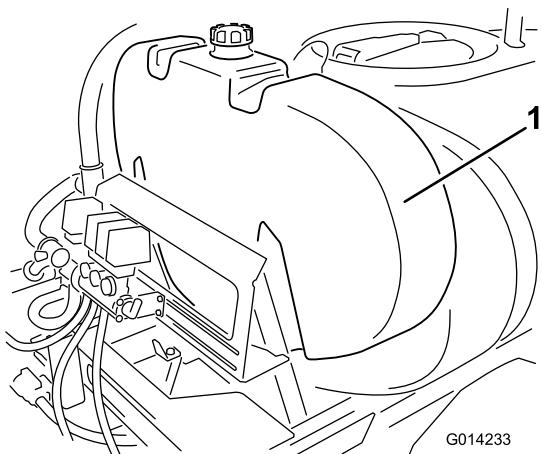


図 9

1. すすぎタンク

2. 先ほどメインタンクの後部固定ベルトに取り付けた金具に、すすぎタンク用の固定ベルトを取り付ける。

注 蓋ストップは、すすぎタンクの左側のベルトとメインタンクのベルトの上から取り付けロットナットで固定してください。

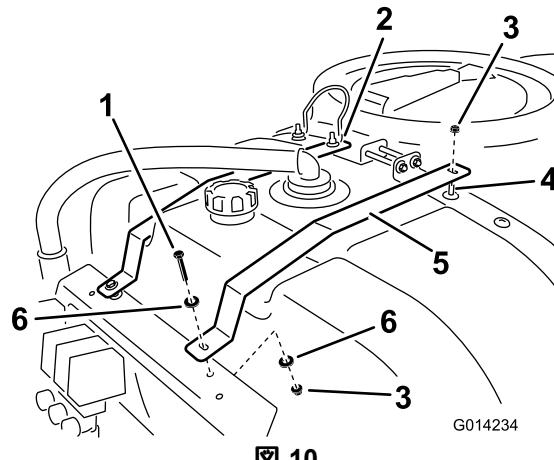


図 10

1. ボルト
2. 蓋ストップ
3. ロックナット
4. キャリッジボルト
5. すすぎタンク固定ベルト
6. ワッシャ

3. ロックナット2個を使用して、メインの後部固定ベルトに、すすぎタンク固定ベルトを固定する。

4. すすぎタンク用の固定ベルトを取り付けレールに固定するボルト2本、ワッシャ4枚とロックナット2個を使用する。

注 各ボルトとナットを注意深く締め付けする。すすぎタンクが定位位置にきちんと固定されていることが必要だが、ベルトに締め付けられて変形していくはいけない。

5. タンク後部に給液ホースを取り付け、先ほど取り外したリテナフオーラーで固定する。

注 すすぎタンクに水を一杯に入れると、水の重量のためにタンクがさらに沈む場合がありますので、タンク固定ベルトの状態をもう一度点検し、必要に応じて増し締めを行ってください。

4

すすぎ用ノズルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	すすぎ用ノズル
2	バルクヘッドフィッティング
2	ショルダボルト
2	ブッシュ
2	すすぎベーン羽根車
2	ガスケット
2	プラスチック製フランジナット
2	90° フィッティング

メインタンクに穴を開ける

- タンクの蓋を開けてフィルタバスケットを取り外す。
- メインタンクについているドリルマーク2つを探し出す図11。

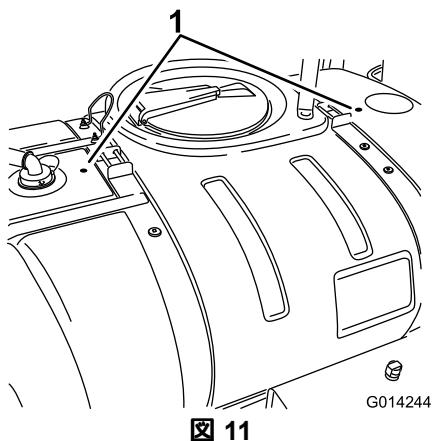


図11

1. ドリルマーク

- タンクの蓋の後ろ側にあるドリルマークに移動する。

注 ドリル作業時に出る削りかすを回収するために、タンクの内側の、ドリルで穴を開ける位置の下に回収容器を取り付けてください。

重要 タンク内部に削りかすなどを残すと配管を詰まらせるなどのトラブルが発生する可能性が高くなります。

- 45mmの円形ノコを使ってマークのところに穴を開ける図12。

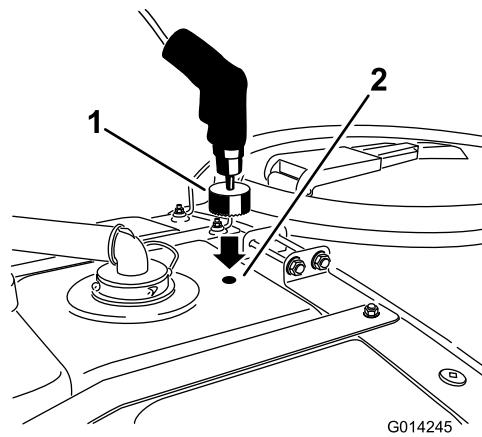


図12

1. 円形ノコギリ
2. 蓋の後ろにあるドリルマーク

- できた穴の縁を滑らかに仕上げる。
- 穴を切る際にタンク内部に落ちたごみや樹脂の粉は完全に取り除く。
- タンクの蓋の後ろ側にあるドリルマークに移動する図13。

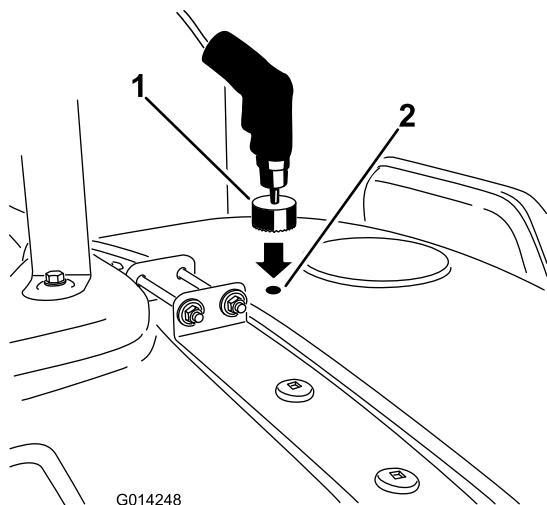
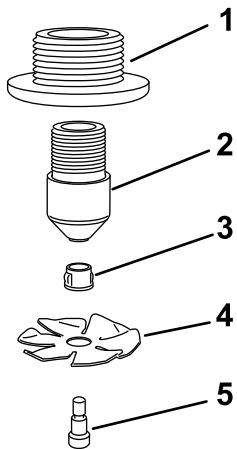


図13

1. 円形ノコギリ
2. 蓋の前にあるドリルマーク

すすぎ用ノズルを取り付ける

- ノズルを図14のように取り付ける。



G014252

図 14

1. バルクヘッドフィッティング
2. すすぎ用ノズル
3. ブッシュ
4. すすぎベーン羽根車
5. ショルダボルト

- A. ショルダボルトの上からすすぎベーンとブッシュを取り付ける。
- B. すすぎ用ノズルに全部のパーツを取り付ける。
- C. すすぎ用ノズルアセンブリをバルクヘッドに取り付ける。

2. 先ほどあけた穴の下から上へ、ノズルアセンブリを通す図 15。

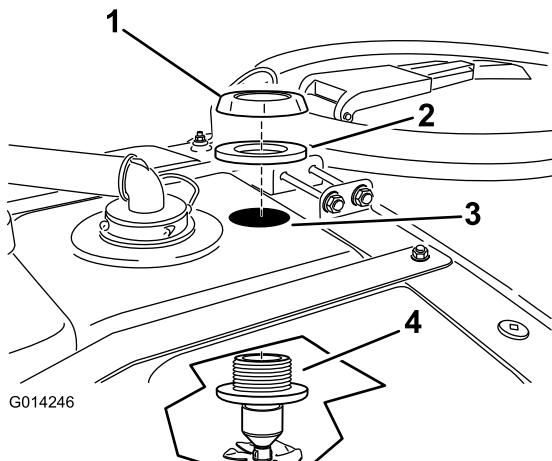


図 15

1. プラスチック製フランジナット
2. ガスケット
3. 穴先ほど開けたもの
4. すすぎノズルアセンブリ

3. タンク上部のバルクヘッドのねじ山に、ガスケットと、プラスチック製フランジナットを取り付ける図 15。

注 タンク表面とプラスチック製ナットの間が完全にシールされていることを確認する。

4. すすぎ用ノズルのバルクヘッドの開口のねじ山に、フィッティングを取り付ける図 16。

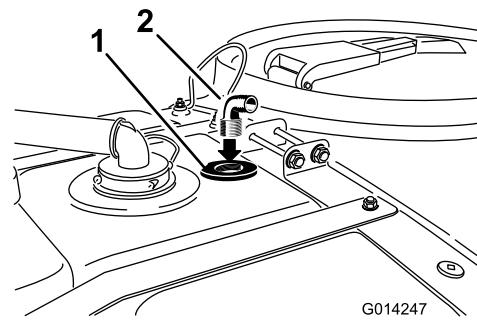


図 16

1. ノズルバルクヘッドアセンブリ
2. 90° フィッティング

5. タンクの前側にあるドリルマークに移動する。
6. 先ほどあけた穴の下から上へ、ノズルアセンブリを通す図 17。

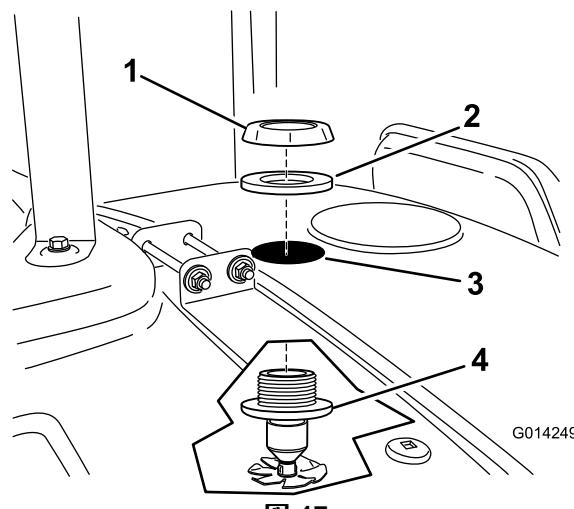


図 17

1. プラスチック製フランジナット
2. ガスケット
3. 穴先ほど開けたもの
4. すすぎノズルアセンブリ

7. タンク上部のバルクヘッドのねじ山に、ガスケットと、プラスチック製フランジナットを取り付ける図 17。タンク表面とプラスチック製ナットの間が完全にシールされていることを確認する。

8. すすぎ用ノズルのバルクヘッドの開口のねじ山に、90°フィッティングを取り付ける図 18。

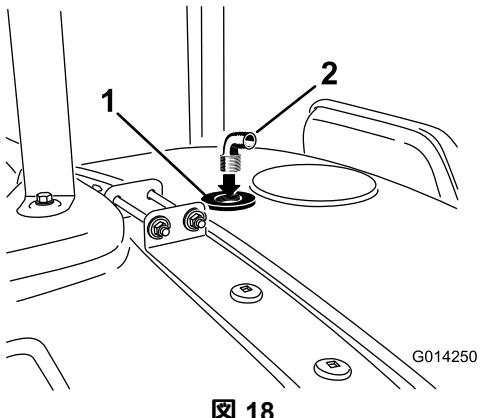


図 18

1. ノズルバルクヘッドアセンブリ 2. 90° フィッティング

9. 90° フィッティングのバーブ鋸歯部を、機体右側に向ける。

5

すすぎタンク用ポンプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	すすぎタンク用ポンプ
2	ストレートフィッティング

手順

1. 図 19 に示すように、メインタンクの右後ろ側のプラットフォームで、タンクフレームにすすぎタンク用ポンプを取り付ける。

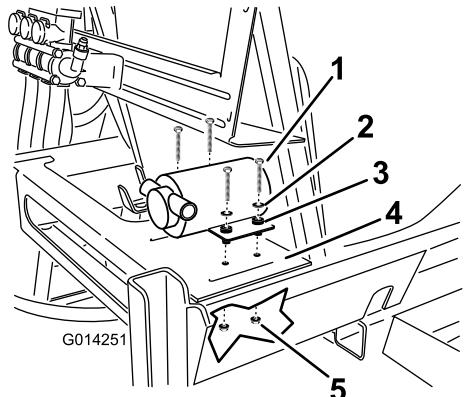


図 19

1. ボルト
2. ワッシャ
3. すすぎタンク用ポンプ
4. タンクフレーム
5. ロックナット

2. すすぎタンク用ポンプをフレームに固定するボルト4本、ワッシャ4枚、ロックナット4個を使用する図 19。
3. 付属部品の中にあるストレートバーブコネクタを探し出し、すすぎタンク用ポンプの入り口と出口に取り付ける 図 20。

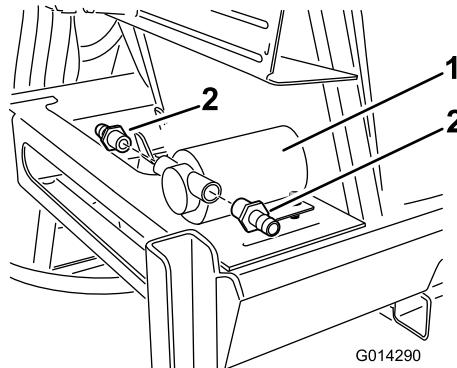


図 20

1. すすぎタンク用ポンプ 2. ストレートコネクタ

4. すすぎタンク用ポンプのワイヤハーネスを探し出す。
5. タンク後部のメインワイヤハーネスの中にある、RINSE PUMP というラベルのついたコネクタを探し出す。
6. ポンプをメインワイヤハーネスに接続する。

6

ホースとフィルタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	ホースすすぎノズル用
10	ホースクランプ
1	字フィッティング
1	ホース給液用
1	フィルタアセンブリ
1	ホースすすぎタンク用
1	保護チューブ
2	ケーブルタイ

すすぎ用ノズルのホースを取り付ける

注 フィッティングの端部鋸状になっているに植物油などを塗っておくと楽に接続することができるでしょう。

- 付属部品の中からすすぎノズル用ホースを探し出す。

注 同じ長さのホースが3本あり、1本はすすぎタンクのポンプ給水ホース、2本はすすぎノズル用のホースです。

- 各ホースの端部にクランプを取り付ける図21。

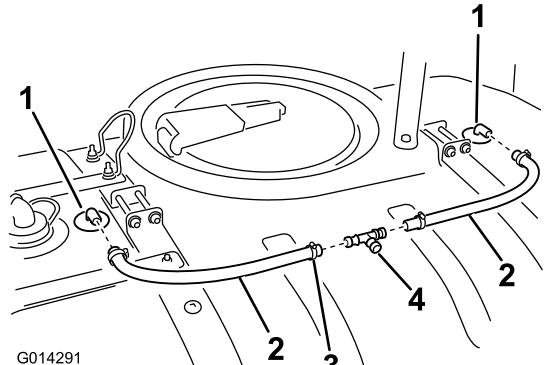


図21

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. すすぎノズルのバーブ | 3. ホースクランプ |
| 2. すすぎノズル用ホース | 4. T字フィッティング |

- すすぎノズルのバーブにホースを接続する図21。

残りのすすぎノズルのバーブにも同じように作業する。

- ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。

残りのすすぎノズルでも同じように作業する。

字フィッティングを取り付ける

- 付属部品の中から、字フィッティングを探し出す。
- 先に取り付けたすすぎノズル用ホースの、開放側端部に字フィッティングを取り付ける図21。
- ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。

給液ホースを取り付ける

- 付属部品の中から長い給水ホースを探し出す。
- このホースの端部から17.8cmの位置に印をつける。
- 印をつけた位置でホースを切断する。
- 残った長い方のホースの両端それぞれにクランプを通す。
- 先ほど取り付けた字フィッティングの開放端に、ホースを接続する図22。

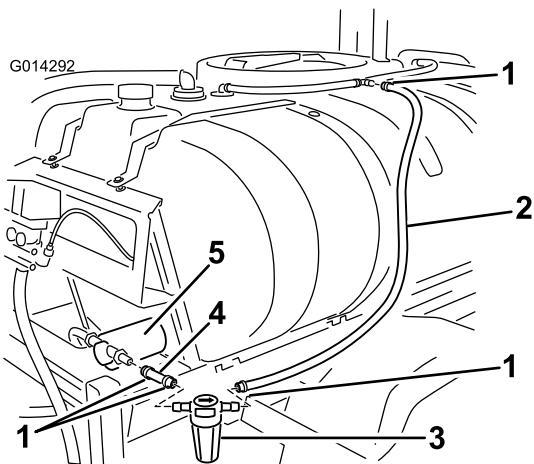


図22

- | | |
|------------|-------------|
| 1. ホースクランプ | 4. 切り取ったホース |
| 2. 長い給水ホース | 5. ポンプ |
| 3. フィルタ | |

- ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。
- 切り取った短い方のホースの両端それぞれにクランプを通す。
- 短いホースの一端を、ポンプから来ているストレートバーブに接続する。
- ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。

フィルタを取り付ける

- 付属部品の中からフィルタアセンブリを探し出す。

注 フィルタアセンブリについている流れの方向を示す矢印に注意してください。

- ポンプから来ているホースとすすぎノズルへ行くホースとの間にインラインフィルタを取り付ける図23。

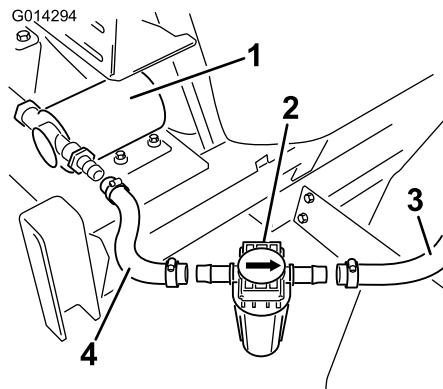


図23

- | | |
|---------|-------------|
| 1. ポンプ | 3. 長い給水ホース |
| 2. フィルタ | 4. 切り取ったホース |

- 給水ホースのクランプを、フィルターセンブリのバーブの上に移動させてホースを締め付け固定する。

すすぎタンク用ホースを取り付ける

- 付属部品の中からすすぎタンク用ホースを探し出す。
- ホースの端部にクランプを通す。
- ホースの一端を、90° フィッティングすすぎタンク底部に取り付ける図 24。

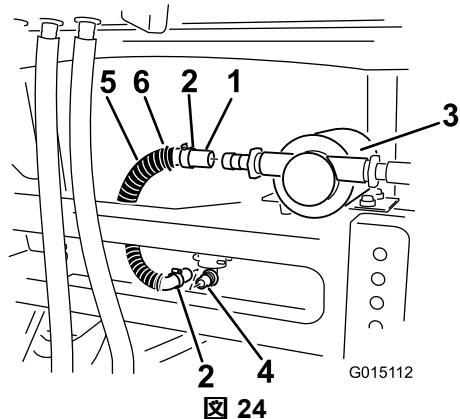


図 24

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. すすぎホース | 4. すすぎタンクのフィッティング |
| 2. ホースクランプ | 5. 保護チューブ |
| 3. ポンプ | 6. ケーブルタイ |
- ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。
 - ホースがフレーム部材に直接当たらないように、ホースに保護チューブを被せる。
 - ホースのもう一端を、ポンプに行くストレートバーブに接続する。
 - ホースに取り付けたクランプをバーブ部分に移動させ、バーブの上から締め付ける。
 - ケーブルタイ 2 本を使って、被せた保護チューブの両端部をホースに縛って固定する。
 - 付属部品の中から、すすぎタンク用カバーを探し出す。
 - ポンプにカバーを被せ、このカバーのタブをフレーム部材のスロットに差し込む図 24。

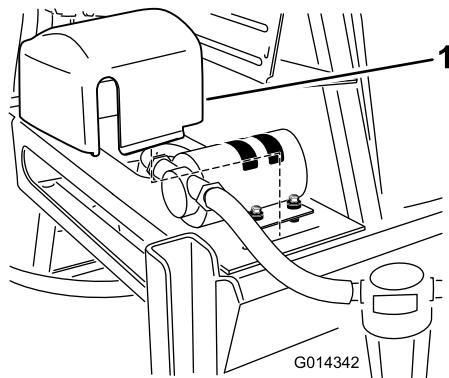


図 25

- ポンプカバー

7

遅延タイマーとダッシュボードスイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	遅延タイマー
1	ヒューズ 40A
1	3 ポジションスイッチインジケータランプ付き — 2015 以前のモデル
1	3 ポジションスイッチインジケータランプなし — 2016 以降のモデル
1	リレー
1	電源リレー
2	ねじ #10-24

遅延タイマー、リレー、ヒューズを取り付ける

- 運転席を倒して、運転席下の電装部にアクセスできるようにする。
- 2015年以前の車両では以下の作業を行う

注 2016年以降の車両では遅延タイマーは不要です。

- 電装パネルからのロックナットで、遅延タイマーを図 26 または図 27 に示す位置に取り付ける。
- タイマーを、車両のワイヤーハーネスの、Delay Timer というラベルの付いた 2 ソケットコネクタに接続する図 26 または図 27。

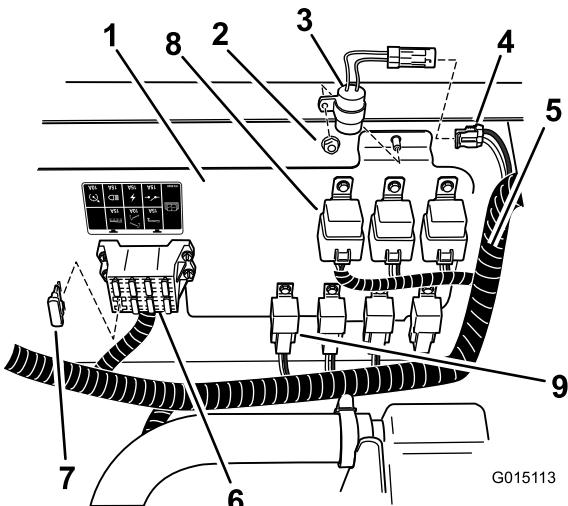


図 26
2014 年以前のマシン

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 電装パネル | 6. ヒューズブロック |
| 2. ロックナット | 7. ヒューズ (40 A) |
| 3. 遅延タイマー | 8. リレー |
| 4. 遅延タイマー用コネクタ車両のワイヤハーネス | 9. 電源リレー |
| 5. メインワイヤハーネス | |

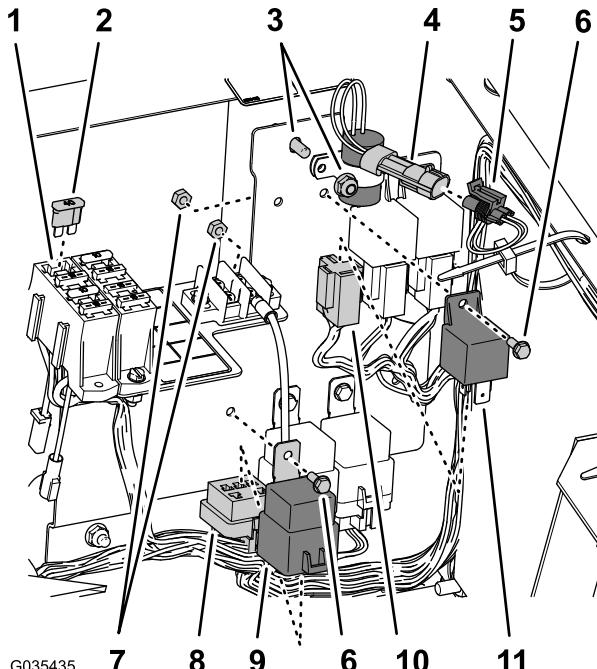


図 27
2015 年のマシン

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. ヒューズブロック | 7. ロックナット#10-24 |
| 2. ヒューズ (40 A) | 8. 5ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス |
| 3. ボルトとナット電装パネル | 9. リレー |
| 4. 2ピンコネクタ遅延タイマー | 10. 4ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス |
| 5. 2ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス | 11. 電源リレー |
| 6. フランジヘッドボルト#10-24 x 1/2 インチ | |

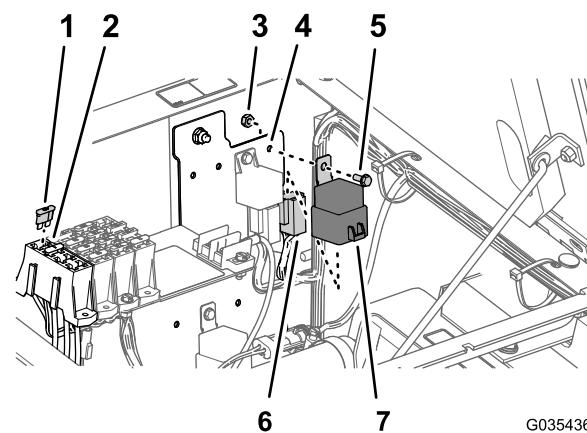


図 28
2016 年以降のマシン

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1. ヒューズ (40 A) | 5. フランジヘッドボルト#10-24 x 1/2 インチ |
| 2. ヒューズブロック | 6. 4ソケットコネクタ車両のワイヤハーネス |
| 3. ロックナット(#10-24) | 7. リレー |
| 4. 電装パネル | |

- ヒューズブロックの空きスロットに、[図 26](#)、[図 27](#)または[図 28](#)のようにヒューズ40Aを取り付ける。

注 もし、この位置に既に別の低定格のヒューズがついている場合には、そのヒューズを取り外してその代わりにこのヒューズ40Aを取り付ける。

- ラインの中に同じようなリレーが複数あるが、その中から、リンス用と電源用のリレーを探し出し、これらをパネルに取り付ける[図 26](#)、[図 27](#)または[図 28](#)フランジヘッドボルト#10-24 x 1/2 インチ2本とロックナット#10-242個を使用する。
- メインハーネスの中から、4ソケットコネクタと5ソケットコネクタを探し出し、これらを、[図 26](#)、[図 27](#)または[図 28](#)のようにリレー4ピンと電源リレーピンに接続する。

ダッシュボードにロックアースイッチを取り付ける

- ダッシュボード上の、すすぎタンク用スイッチのプラグを打ち抜いて穴を作る[図 29](#)または[図 30](#)。

注 イグニッションキーの右にある二つ目のプラグです。

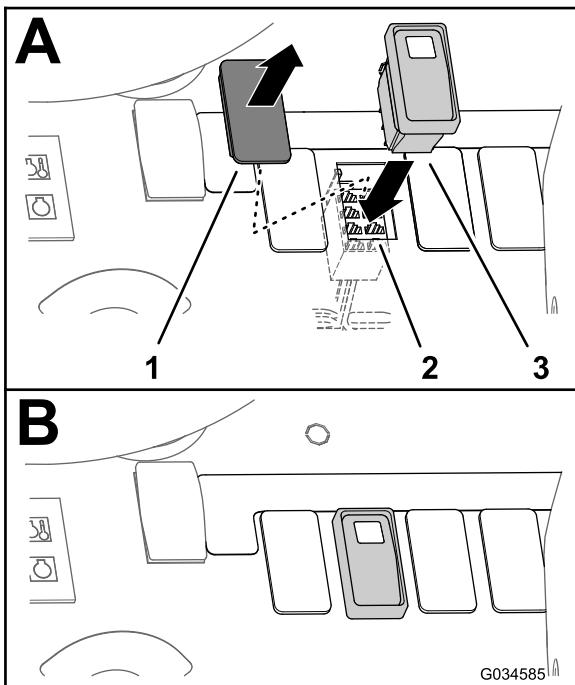


図 29
2015 年以前のマシン

- プラグ
- すすぎタンク用のコネクタメインワイヤハーネス
- 3 ポジションスイッチインジケータランプ付き

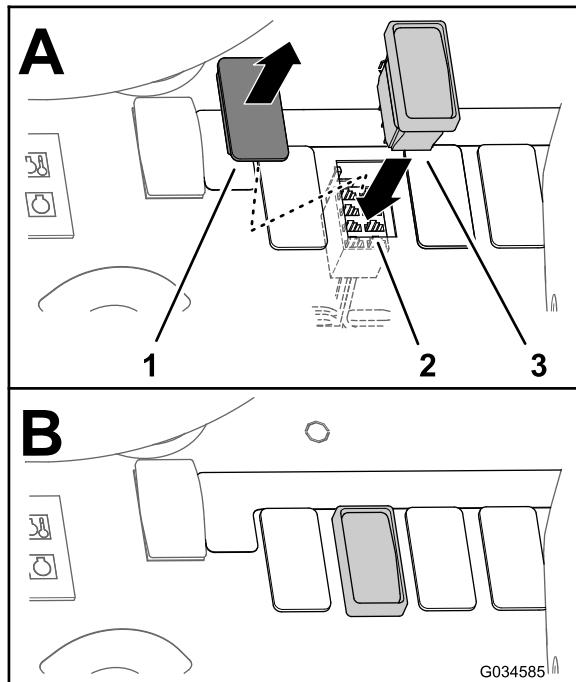


図 30
2016 年以降のマシン

1. プラグ
2. すすぎタンク用のコネクタメインワイヤハーネス
3. 3 ポジションスイッチインジケータランプなし
2. ダッシュボードの下から、メインハーネスのうちの RINSE TANK というラベルのついているソケットコネクタを縛っているケーブルタグを外す。
3. このソケットコネクタを、ダッシュボードにできた穴に導く[図 29](#)または[図 30](#)。
4. ダッシュボードを通して、ポジションスイッチをソケットコネクタに接続する[図 29](#)または[図 30](#)。
5. ポジションスイッチをダッシュパネルの穴に入れ、パチンとはまるまで完全に押し込む[図 29](#)と[図 30](#)。

8

バッテリーを接続する

必要なパーツはありません。

手順

▲ 警告

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

- ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。
 - ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。
- バッテリーのプラス端子にプラスケーブルを取り付ける各車両のオペレーターズマニュアルを参照。
 - バッテリーのマイナス端子にマイナスケーブルを取り付ける各車両のオペレーターズマニュアルを参照。
 - バッテリーカバーをバッテリーボックスに合わせ、ストラップでカバーを固定するオペレーターズマニュアルを参照。

運転操作

すすぎキットの使用方法

このすすぎキットを使用すると、タンク内にすすぎ液残存薬剤の薄い液が得られます。多くの場合、すでに薬剤を散布し終わった場所にこの薄い薬剤を散布することに問題はありません。しかしながら、様々なケースが考えられますので、すでに薬剤を散布し終わった場所に、薄い薬剤を散布することで薬剤の効果に悪影響がでないかどうかを、事前に薬剤メーカーに確認するようにしてください。

重要 水和剤を使用する時、水和剤をメインタンクに正しい方法で投入しないと、剤をタンク内部に詰まらせてしまう可能性がありますが、このキットは、そのような詰まりを除去するためのものではありません。

制御装置

すすぎキットは、1個のスイッチ3ポジションで操作します図31または図32。

- 上位置:** すすぎポンプはONです。すすぎポンプが上位置でロックし、遅延タイマーが作動します。

注 2015年以前の車両ではスイッチのランプが点灯します。

- ニュートラル:** すすぎポンプはOFFです。ポジションスイッチは中立位置にあります。
- 下位置:** すすぎポンプはONです。ポジションスイッチを押している間だけすすぎポンプが作動します。タイマーは作動しません。

注 2015年以前の車両ではスイッチのランプが点灯します。

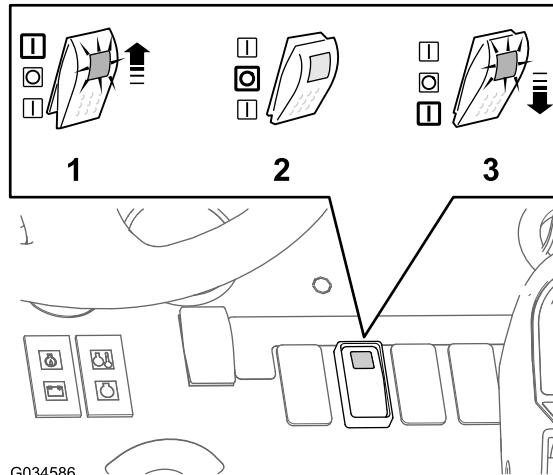


図31
2015年以前のモデル

- 上位置ONタイマー作動す
- ニュートラル OFF 位置
- 下位置ON手動すすぎ位置

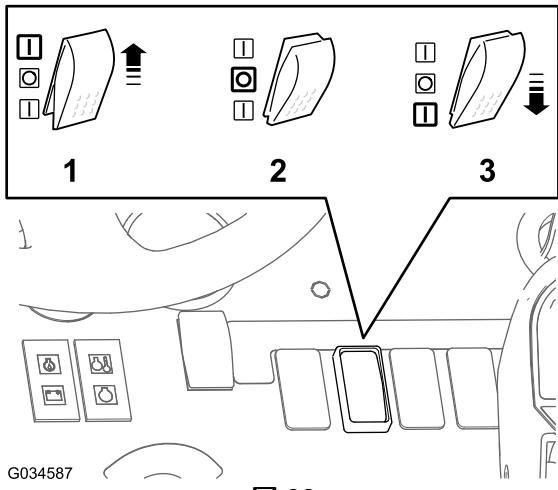


図 32
2016年以降のモデル

1. 上位置ONタイマー作動す
2. ニュートラル OFF 位置
3. 下位置ON手動すすぎ位置

使用方法

ポジションスイッチを操作しての自動すすぎ

スイッチを上位置にするとタイマーによる自動すすぎを開始します。ポンプが110秒間作動し、すすぎタンクの約1/3の量の水がメインタンクに送られます。この間、スイッチは上位置にあります。

注 2015年以前のモデルでは、スイッチのランプが点灯して、ポンプが作動中であることを表示します。

110秒後に、ポンプは停止します。

注 2015年以前のモデルでは、スイッチのランプが消えて、ポンプの作動が停止したことを表示します。

スイッチ自体は上位置のままで、手動で中央位置ニュートラル位置に戻してください。スイッチがニュートラル位置にある時は、ポンプに通電されないので、すすぎキットはOFF状態です。

注 2015年以前のモデルでは、スイッチがニュートラル位置にあるときはランプは消灯しています。

ポジションスイッチを操作しての手動すすぎ

スイッチを下位置にすると手動すすぎが行われます。スイッチを押している間だけ、ポンプが作動します。

注 2015年以前のモデルでは、スイッチを下位置に押している間はランプが点灯します。

ポジションスイッチから手を離すと、スイッチはニュートラル位置に戻ります。ポンプへの通電は停止します。

注 2015年以前のモデルでは、ランプは消灯します。

タンクに水を入れる

平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、始動キーを抜き取る。

すすぎタンクのキャップを外し、タンクに一杯約113リットルの真水を入れてください。キャップを元通りに取り付けます。

重要 すすぎタンク113リットル・タンクにはきれいな真水以外は入れないでください。真水以外のものを入れると、安全上の問題や、装置の不具合が発生する可能性があります。

すすぎサイクルの操作方法

使用方法のひとつとして、メインタンクに約38リットルほどの水がたまつたころを見計らって、攪拌スイッチをONにして攪拌ラインに通水するといいでしょう。そして、すすぎが終了したら、すすぎ液をノズルから散布するか、手動でタンクから排水するかします。この方法を使うと、移動走行を行ながらすすぎを実行することができます。

1. すすぎタンクのポンプは以下のどれかの方法でONできます
 - ポジションスイッチを操作しての自動すすぎ。
 - スイッチを下位置に押して希望する時間だけポンプを作動さる。
2. メインタンクに約38リットルほどの水が入つたら、攪拌スイッチをONにして攪拌ループの内部洗浄を行う。
3. すすぎが終わったら、すすぎに使った液は法律に従って処分する。以下のどれかの方法を行なうことができます
 - メインタンクが空になるまで、すすぎ液をブームから散布する。
 - メインタンクのドレンバルブを開いて、適切な容器にすすぎ液を回収して法律に従って処分する。

必要に応じて、このすすぎサイクルを、あと2回繰り返すことができます。

保守

フィルタを点検する

整備間隔: 使用開始後最初の 5 時間

50運転時間ごと

フィルタに破損の兆候がないか点検してください。フィルタが破損している場合には交換してください。

すすぎシステムに漏れや破損がないか点検する

整備間隔: 使用するごとまたは毎日—ホースから液もれがないか点検してください。

使用開始後最初の 5 時間—ホースに破損がないか点検してください。

100運転時間ごと—ホースとOリングに破損がないか点検してください。

交換部品についてはトロ社代理店にご連絡ください。

すすぎタンク固定ベルトの点検

整備間隔: 使用開始後最初の 1 時間—すすぎタンク固定ベルトを点検する。

メインタンクに水を入れ終わったら、タンク固定ベルトにゆるみがないかどうか点検してください。ベルトにゆるみがある場合には、上部ベルトの締め具を締めてベルトとタンクとが面一になるようにします。締めすぎないでください。

重要 ベルトを締め付けすぎると、ベルトが変形したり破断したりする可能性があります。

保管

氷点下にならない気温で最大30日間までの格納保管

以下の機器から水を抜き取ってください

- ポンプの給液ライン
- ポンプの吐出ライン
- フィルターライン

氷点下にならない気温で30日間以上にわたる格納保管

格納前に以下の作業を行ってください

- すすぎタンク内に不凍液を添加する。
- すすぎポンプを作動させて不凍液を循環させる。

再び使用する前には、以下の機器から液を抜き取ってください

- ポンプの給液ライン
- ポンプの吐出ライン
- フィルターライン

メモ

メモ

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣言書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
41614	315000001 以上	マルチプロ 5800 ターフスプレーヤ用タンクすすぎキット	30g FRESH WATER RINSE KIT	スプレーヤ	2006/42/EC, 2004/108/EC または 2014/30/EU

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子滴通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



EU技術連絡先

Marc Vermeiren
Toro Europe NV
B-2260 Oevel-Westerloo
Belgium

David Klis
上級エンジニアリングマネージャ
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
March 15, 2016

Tel. 0032 14 562960
Fax 0032 14 581911

保証条件および保証製品

Toro® 社およびその関連会社であるToro ワンティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。

米国とカナダ以外のお客様へ

ご自分の国や地域における製品保証内容の詳細については、ご購入先の弊社代理店ディストリビュータまたはディーラにお尋ねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。輸入元の対応にご満足頂けない場合は本社へ直接お問い合わせください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカーライターカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

注記 ディープサイクルバッテリーの保証について

ディープサイクルバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量 kWh が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなっています。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

保証の対象とならない部品や作業など エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらにかかる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果の損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。

商品性や用途適性についての默示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。米国内では、間接的偶発的損害にたいする免責を認めていない州があります。また默示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。

この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。